

# 平成28年度 卒業前授業観察 実施要項 (学生向け)

平成29年1月10日  
教育実践総合センター

大分大学教育学部と同附属小学校は、本年度の教員採用試験を受験した学部4年次および大学院修了年次の学生のうち、小学校採用を希望する者が、卒業・修了後すみやかに教師として活躍できるための一助として「卒業前授業観察」を実施する。

## 1. 目的

本事業は、大学卒業を目前に控えると同時に教職員として働こうとする学生が、実際の教育現場における教師の指導内容や児童生徒の様子を目にすることで、より主体的に指導者としてのあるべき姿を学ぶ機会とする。それにより自分自身の目指す教師像を明確にし、春からの教師としての生活に意欲をもつための一助とする。

## 2. 対象

平成28年度教育福祉科学部所属の卒業年次生および大学院教育学研究科所属の修了年次生

## 3. 参加可能日及び時間帯

2月1日(水) 13:00～、2月2日(木) 終日、2月6日(月) 終日

2月16日(木) 終日、2月20日(月) 終日

\*以上の日程のなかから、全日 [8:15～17:00]、午前のみ [8:15～12:30]、午後のみ [13:00～17:00] のいずれかを選んでください。

## 4. 活動内容

参加する学生の活動内容は授業観察のみとし、授業や学習指導等は行わない。

## 5. 申し込み方法

卒業前授業観察を希望する学生は、希望する日時を選び、必ず所属するコース・選修、専修の指導教員の了解を得たうえで、所定の「卒業前授業観察申込書」に必要事項を記入し、附属小学校指導教諭に申込書のファイルを添付したメールを送信する。

あわせて大学の指導教員および教育実践総合センター(以下、実践センター)に同一の内容を送信する(CCによる同時送信でよい)。

\*可能な限り、申し込みおよび連絡には、大学の学籍番号のアドレスを使用してください。

送信先: 山田真由美先生 yamada-mayumi@oita-u.ac.jp

同時送信先: 教育実践総合センター jissenc@oita-u.ac.jp

申込期間: 1月10日(火)～20日(金) 17:00

送信内容等: 件名は「授業観察申し込み(本人の氏名)」とする。

\*申込書は、実践センターのホームページからダウンロードできます。

## 6. 申し込み後から参加終了後までの流れ

### 【当日まで】

- ・小学校からの受諾メールを確認する。
- ・実施日が決まりしだい、学生本人がそれを速やかに指導教員および教育実践総合センターに報告する。
- ・授業観察当日、出かける前に必ず学務係で配布する健康管理チェックシートにより体調を確認し、問題があった場合は速やかに附属小学校に連絡する。
- ・万が一、なんらかの理由で実施日の授業観察ができなくなった場合は、速やかに小学校に連絡するとともに、その後、学生本人が指導教員および教育実践総合センターに報告する。

### 【当日の流れ】

- ①登校 8時15分までに講話室に登校（指導教諭対応）  
指導教諭の先生より注意事項などの確認
  - ②観察 8：15～12：30（休み時間は児童と過ごすのも可）
  - ③昼食休憩 実践センターを利用  
（利用時はセンター2階事務室に声をかけてください）  
休み時間は児童と過ごすのも可  
給食指導を見るのも可（担任と要相談）
  - ④観察 13:00～17:00  
午後より参加する学生は13時までに講話室に登校
  - ⑤質疑応答 16：00～17：00 指導教諭の先生が質問に答えてくださいます。
  - ⑥授業観察終了後、その旨を学生から指導教諭または実習主任の先生に伝える。
  - ⑦授業観察から帰宅後、当日中に大学の指導教員に終了した旨を連絡する。
- \*注意事項
- ・服装等は教育実習に準じる
  - ・靴は2Fの靴箱を使用すること
  - ・上履きは各自持参すること
  - ・貴重品は各自管理すること
  - ・実践センター以外では携帯の電源は必ず切っておくこと

### 【翌日以降】

- ・実践センターが用意するアンケートに回答し、学部学務係に提出してください。
- \*アンケート用紙は、実践センターのホームページからダウンロードできます（予定）。

## 7. その他

- ・教育実習のときと同様、授業観察中に知り得た情報等を外部に漏らすことは絶対にしないこと。
- ・個人情報保護のため、授業の様子を写真やビデオカメラで撮影しないこと。
- ・教育実習のときと同様、名札を下げて授業観察に臨むこと。
- ・全日参加する学生は、各自で弁当を用意してください。
- ・昼食時などの控室は、教育実践総合センターを使用してください。